

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもプラス姫路教室			公表日	2025年1月28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	2	・遊びごとのスペースを決め、有効的に利用できるよう配慮している。	・子どもたちに視覚的に分かりやすいような表示が必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	2	・基準よりも少し多く職員を配置している。	・個々の活動時に、全てに目が行き届かないことがあり、職員の配置方法を考え直す。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	・生活空間はワンフロアのバリアフリーとなっており、特に問題なく生活が行えている。	・今後、車椅子等の利用があった場合、使いやすい動線を考えていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	3	・掃除、道具等の消毒を毎日行っている。室温はこまめに調整を行っている。	・見えないところの埃の清掃をこまめに行っていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		・クールダウンや個々の活動、子どもの希望によって個別の部屋を使用できるようにしている。	・個別の部屋が使用中であることが分かるよう札などの表示が必要。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1	・毎月の職員会議や送迎を行う前の話し合いで、職員での共有を行っている。	・会議等の欠席の職員に、詳しくわかりやすい説明が必要となる。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・定期的な面談や必要時に訪問や面談を行い、保護者の意向を把握し、できる限りの業務改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2	・月に一回、職員会議を行い、全員が発言できる環境を作り、どのように改善していくかを話し合うことが出来ている。	・発言しにくい職員に対して、個別に意見が出せるよう努めていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	3	・第三者（FC本部）による外部評価を、定期的に確認を行い、業務改善に努めている。	・職員全体にも理解していけるような説明を行っていく必要がある。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		・毎月一回行う職員会議での施設内研修、月に3回あるFC研修を、ZOOMによる外部研修を行っている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		・子どもたちが楽しく行えるように、職員で話し合い作成している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		・必ず顔が見える面談を行い、ニーズや課題を話し合い、作成できている。面談時、話しやすい雰囲気を作るため、子どもの良いところや楽しい様子を伝えるようにしている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		・職員会議内で話し合い、面談が行われる前に確認を行い、作成に全職員が関わって理解できるようにしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		・毎回、利用の子どもの計画を確認し、支援していけるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		・職員一人一人の見方や考え方があるので、全員の意見を盛り込んで行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		・保護者に説明を行い、内容を一緒に確認している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		・意見を出し合い行っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		・新しい内容や意見をまとめ、毎月話し合いを行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		・個別活動と集団活動で行える支援を明確に作成、支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	2	・支援開始前の打ち合わせの中で、役割分担の確認だけでなく、行う支援（活動を含む）のリハーサルを行っている。	・勤務時間や送迎の関係上、参加できない職員が聞きやすい雰囲気を作っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2	・送迎後に、改善すべき点や継続していく点の話し合いができています。	・勤務時間によって参加できない職員がいるので、後日報告をしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1	・記録を取った後にその日の様子を話し合い、支援内容の改善に繋げている。	・話し合いを支援開始前に行い、全職員で共有していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		・必ずモニタリングを行い、見直しを行っている。モニタリング後、職員で共有出来ている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9		・職員間で理解できるように説明を行い出来ている。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		・自己決定できる環境を整え、支援計画にも盛り込んで支援が行えている。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		・児童発達管理責任者が参加し、参加前に職員全体の意見や考えをまとめて参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	・必要時、連携をとり行っている。	・地域との連携をとっている事を職員全体で理解できるように説明を行っていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1	・学校によっては、下校時間の情報共有を行い、必要時は教室の様子を伝えている。	・連絡調整以外の情報共有を職員全員が行っていけるよう努める。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	2	・保護者を通し、行っているため、保護者の考えも知ることが出来ている。	・全体で出来てはいないので、出来る範囲で情報共有を行ってきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			・まだ事例がないので、今後行ってきたい。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		9		・今後行っていけるよう努めていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	4	・公園遊びなどを通し、地域の子どもたちとの交流を図っている。 ・地域の絵本の読み聞かせなどを通し、交流を行っている。	・放課後児童クラブや児童館との交流は、今後行ってきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	3	・協議会について話し合いの内容を調べることを行っている。	・今後、機会があれば参加したい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		・送迎時や連絡ノートを使い、伝えることを行っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	4	・保護者会を開催するための話し合いを行っている。	・実行できるよう努めていく。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		・契約時、必要時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		・意見や思いをしっかりと聞き、受け止め、行えている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		・保護者と一緒に確認を行い、調整をし、同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		・電話や連絡ノート、必要時は面談や訪問を行い、保護者の負担がない方法をとっている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7	2	・保護者会の家がたくさん出ている状態で、実行に向けて進んでいる。	・実行していけるよう努めていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		・体制は取れている。すぐに状況の確認を行い、責任者が対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	1	・会報の配布を行っている。	・日々の活動がわかりやすいお便りの発行をしていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		・個人情報は鍵付きの棚に保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		・イラストや分かりやすい伝え方を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	3	・地域の夏祭り等への参加を行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		・避難訓練及び防災ブラザを利用し、災害の体験を定期的に行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1	・職員間で、実際に避難を行うのに必要な時間を図り努めている。	・消防署で行っている研修に参加していきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		・利用時に必ず確認を行い、定期的に保護者と情報の共有を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		・エビペンの確認、材料の表示の確認を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		・研修は、定期的に参加を行っており、職員間での共有が出来ている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		・送迎時や外での活動時の安全性の連携は、その都度行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	1	・新人職員へ、ヒヤリハット報告書の書き方の研修を行い、職員全員で検討が行われている。	・ヒヤリハットについて理解を深めるため、施設内研修を行いたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1	・外部研修等を受けた職員が、個々に研修内容を伝え、全体研修でも虐待に関しての知識を習得出来る機会を提供している。	・全員が虐待防止等に関し、意識向上出来る様に努めていく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		・ご自宅を訪問し、保護者に説明と理解をしていただき、計画書に記載できている。		